

賛否の公表

※採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の案件は全会一致で可決等されています。
 なお、紙面の都合で賛成・反対討論は抜粋し掲載いたします。

● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏名	会派	議案第6号	議案第14号	発議案第54号	発議案第55号	発議案第56号	請願第46号	請願第47号
1	菅原 由和	爽志会	○	○	○	○	○	○	×
2	飯坂 一也	公明党	○	○	×	×	×	×	×
3	三ノ宮 治	爽志会	○	○	○	○	○	○	×
4	高橋 政一	市民クラブ	○	○	○	○	○	○	×
5	佐藤 郁夫	市民クラブ	○	○	○	○	○	○	×
6	菊地 孝男	創政会	○	○	×	×	○	○	×
7	千葉 正文	市民クラブ	○	○	×	×	○	×	×
9	関 笙子	創政会	○	○	○	×	○	○	×
10	加藤 清	爽志会	○	○	○	×	○	○	×
11	阿部加代子	公明党	○	○	×	×	×	×	×
12	中西 秀俊	創政会	○	○	○	○	○	○	×
13	小野寺隆夫	爽志会	○	○	○	○	○	○	×
14	菅原 明	日本共産党	×	×	○	○	○	○	○
15	三宅 正克	爽志会	○	○	○	○	○	○	×
16	菊池堅太郎	創政会	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
17	小野寺 重	創政会	○	○	○	×	○	○	×
18	千葉 悟郎	市民クラブ	○	○	○	○	○	○	×
19	藤田 慶則	創政会	○	○	○	○	○	○	×
20	今野 裕文	日本共産党	×	×	○	○	○	○	○
21	佐藤 邦夫	市民クラブ	○	○	○	×	○	○	×
22	及川 梅男	爽志会	○	欠	○	○	○	○	×
23	内田 和良	無会派	○	○	○	○	○	○	×
24	千田美津子	日本共産党	×	×	○	○	○	○	○
26	遠藤 敏	創政会	○	○	○	○	○	○	×
27	佐藤 修孝	政凛会	○	○	×	×	×	○	×
28	菊池 嘉穂	政凛会	○	○	○	○	○	○	×
29	新田 久治	政凛会	○	○	○	×	○	○	×
30	小野 幸宣	創政会	○	○	○	×	×	○	×
31	佐藤 克夫	創政会	○	○	○	○	○	○	×
32	高橋 瑞男	政凛会	○	○	○	○	○	○	○
33	及川 善男	日本共産党	×	×	○	○	○	○	○
34	中澤 俊明	無会派	○	○	○	○	○	○	×
賛成：反対			27:4	26:4	26:5	20:11	27:4	28:3	5:26

※議長は採決には加わりません
 (注) 請願第47号は原案についての表決

■ 採決議題の案件名

議案番号	案件名
議案第6号	都市計画道路久田前田中線上部工(東工区)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
議案第14号	平成25年度奥州市一般会計補正予算(第6号)
発議案第54号	重要5品目の聖域すら守れないTPP交渉から撤退することを求める意見書
発議案第55号	消費税増税の中止を求める意見書
発議案第56号	特定秘密の保護に関する法律の拙速な成立に抗議し、法律の抜本的な見直しを求める意見書
請願第46号	政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願
請願第47号	国保税の引き下げを求める請願

発議案第55号 消費税増税の中止を求める意見書
反対討論 超高齢化社会という社会構造に対して、年金医療、介護、子育てに年間1兆円ずつ自然増している状況である。よって、経済対策、低所得対策など手を打ちながらも、福祉政策、財政再建など、その充実のため消費税増税はすべきものと考えられることから、反対する。

賛成討論 2014年度税制改正大綱は、生活にあえぐ庶民に消費税を押し付け、一方で、大企業を優遇するものである。消費税の増税分は、社会保障の拡充と財政再建を両立するものと説明してきたが、財政制度等審議会が発表した2014年度の予算編成への建議は、消費税増税をするから社会保障を抑制しなければならぬとし、国会で社会保障削減の道筋を定めた社会保障プログラム法も強行された。以上の観点から関係機関にて、賛成する。

請願第47号 国保税の引き下げを求める請願(総務常任委員会の審査結果「不採択」に対する討論)
反対討論 当市の国保税は県内市町村の中で2番目に高く、市では最も高い税額になっている。奥州市の国保会計には約8億円の基金があるが、国が示す安定的運営に必要な額は約4億円であり、国保税の引き下げは可能であると考える。また、国庫負担金の割合が昭和50年代以降下がっており、負担割合増額のための運

賛成討論 現時点で保険料の値下げをすれば将来的に枯渇して、再度大幅な値上げという考えも当局から示された。人口構造や将来財政見通しがいまま、安易な保険料の引き下げによる基金の取り崩しは、国保財政運営上適切ではないとの観点から、原案に反対し委員